

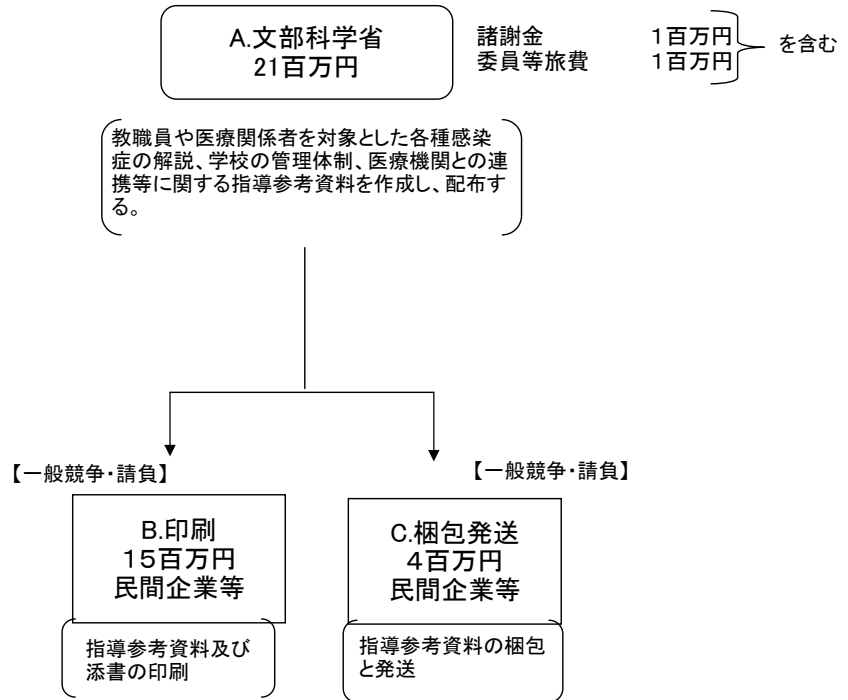
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	学校において予防すべき感染症の指導参考資料の作成		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 平下文康		
会計区分	一般会計		施策名	II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	学校保健安全法施行令 第8条 学校保健安全法施行規則 第18条		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型インフルエンザに代表される感染症の拡大が心配される昨今、教職員や医療関係者を対象とした各種感染症の解説、学校の管理体制、医療機関との連携等に関する指導参考資料を作成し、配布することにより、感染症の的確な予防及び拡大防止に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医師や学校関係者、教育行政関係者を協力者として委嘱し、教職員や医療関係者を対象に、各種感染症の解説、学校の管理体制、医療機関との連携等に関する指導資料を作成するための会議を開催し、指導資料を作成、各教育委員会、学校に配布する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	—	—	—	21	0	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	—	—	—	21	0	
	執行額		—	—	—			
執行率(%)		—	—	—				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (24年度)
	指導参考資料の作成・配布を通して、前年度よりも感染症による学校の臨時休業数を減少させようとする事業であり、成果目標等を数値で定量化するのは困難。		成果実績	—	—	—	—	—
				達成度	%	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	指導資料の作成と配布		活動実績 (当初見込み)		—	—	—	() (303,000)
単位当たりコスト	指導資料1部当たりのコスト 69(円/部)		算出根拠	単位コスト=指導資料作成経費(21,000,000円)÷印刷部数(303,000部)				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金		1百万円		平成23年度限りで廃止			
	委員等旅費		1百万円					
	教職員研修費		19百万円					
計		21百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に予算執行ができるように、スケジュール管理を徹底する。 ・当事業は、指導参考資料を作成、配布することで、当初の目的が達成されると判断し、平成23年度限りで廃止する。 		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>指導参考資料を作成、配布することで、当初の目的が達成されるため廃止するが、今年度の執行に当たっては早期執行に努めていくべきである。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	@15百万円×1法人	15			
通信運搬費	@4百万円×1法人	4			
諸謝金	会議出席謝金	1			
委員等旅費	会議出席旅費	1			
計		21	計		0
B.民間企業等			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	@15百万円×1法人	15			
計		15	計		0
C.民間企業等			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	@4百万円×1法人	4			
計		4	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0